

旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和
								南北朝		桃山					

1	右の絵の江戸時代から使われるようになった農具を何とといいますか。		9巻 P186	答え	
2	江戸時代から使われるようになった、いわしを干してつくられる肥料を何とといいますか。		9巻 P180	答え	
3	日本海側の産物を、瀬戸内海を通過して大阪まで運ぶ航路を何とといいますか。		9巻 P178	答え	
4	江戸時代前半、徳川綱吉のころに上方(京都・大阪)の町人を中心に栄えた文化を何とといいますか。		10巻 P30	答え	
5	4の文化のころに流行した、庶民の生活や恋愛などの心情をえがいた小説を何とといいますか。		10巻 P31	答え	
6	右の菱川師宣の代表作品は何とといいますか。		10巻 P1	答え	
7	人形浄瑠璃の脚本の代表的な作家で、『曾根崎心中』などで知られる人物はだれですか。		10巻 P30	答え	
8	『奥のほそ道』という紀行文を残した人物はだれですか。		10巻 P31	答え	
9	人口が100万人にもなった政治の中心地はどこですか。		10巻 P15	答え	
10	19世紀はじめ、江戸を中心として栄えた文化は何ですか。		10巻 P190	答え	
11	右の絵の作者はだれですか。		10巻 P7	答え	
12	『東海道五十三次』が代表作である人物はだれですか。		10巻 P198	答え	

旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和
								南北朝		桃山					

1	右の絵の江戸時代から使われるようになった農具を何といいますか。		9巻 P186	答え	びっちゅう 備中ぐわ
2	江戸時代から使われるようになった、いわしを干してつくれる肥料を何といいますか。		9巻 P180	答え	ほしか 干鰯
3	日本海側の産物を、瀬戸内海を通して大阪まで運ぶ航路を何といいますか。出羽の酒田(山形)から東廻り航路と西廻り航路に分かれています		9巻 P178	答え	にしまわ こうろ 西廻り航路
4	江戸時代前半、徳川綱吉のころに上方(京都・大阪)の町人を中心に栄えた文化を何といいますか。		10巻 P30	答え	げんろくぶんか 元禄文化
5	4の文化のころに流行した、庶民の生活や恋愛などの心情をえがいた小説を何といいますか。		10巻 P31	答え	うきよぞうし 浮世草子
6	右の菱川師宣の代表作品は何といいますか。		10巻 P1	答え	みかえ びじんず 見返り美人図
7	人形浄瑠璃の脚本の代表的な作家で、『曾根崎心中』などで知られる人物はだれですか。		10巻 P30	答え	ちかまつもんざえもん 近松門左衛門
8	『奥のほそ道』という紀行文を残した人物はだれですか。		10巻 P31	答え	まつおばしろう 松尾芭蕉
9	人口が100万人にもなった政治の中心地はどこですか。		10巻 P15	答え	えど 江戸
10	19世紀はじめ、江戸を中心として栄えた文化は何ですか。		10巻 P190	答え	かせいぶんか 化政文化
11	右の絵の作者はだれですか。『富嶽三十六景』という作品です		10巻 P7	答え	かつしかほくさい 葛飾北斎
12	『東海道五十三次』が代表作である人物はだれですか。		10巻 P198	答え	うたがわひろしげ 歌川広重